

J-Twende (Japan-Africa Collaboration Hub)

ローンチイベント

ジェトロアフリカ事務所・スタートアップ課
2025年7月23日

J-Twende (Japan-Africa Collaboration Hub)

事業概要

事業目的

アフリカ企業が“生のニーズ”を発信する場をJETROが用意し、ビジネス上の課題解決を目指すアフリカ有力企業（チャレンジオーナー）と、課題解決に資する技術等を持つスタートアップ等日本企業のマッチングを実施。アフリカ現地有力企業が抱えるビジネス上の課題を日本企業のアフリカ展開のチャンスとすべく、支援を行う。

募集対象

- チャレンジオーナーが提示するビジネス上の課題の解決に資する技術、製品、サービスを有し、チャレンジオーナーとの協業によりアフリカでの事業展開を目指す日本企業。
- アフリカ未経験企業も歓迎。海外での何らかの取組実績があり、英語またはフランス語でチャレンジオーナーと直接やり取りができることが望ましい。

チャレンジオーナーとその課題

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/za_johannesburg/j-twende/



参加申込

- 応募締切：【第一次】2025年8月6日(水) ※TICAD9に合わせた対面面談アレンジは第一次締切までの提案者のみ対象
【第二次】2025年9月以降随時 ※チャレンジオーナー意向に応じて受付締切
- 申込フォーム：<https://forms.office.com/r/WLex17W5tL>



J-Twende (Japan-Africa Collaboration Hub)

事業のねらい

アフリカは急速な人口増加の中で、多様な社会課題と新たな成長機会が交錯しています。社会課題をビジネス機会に変える3つのポイントは「稼ぐ力」「人づくり」「街づくり」であり、これを可能にする鍵こそが日本企業の技術です。

1. Value Chain Development : 「稼ぐ力」

アフリカの豊富な資源と日本の「稼ぐ力」を活かして高収益ビジネスを生み出す

2. Youth Empowerment : 「人づくり」

日本流の人材育成により、アフリカの若年層をイノベーションの未来を担う「人財」に

3. Urban Development : 「街づくり」

日本の経験・技術を活かして急速な都市化の課題を乗り越え、アフリカの都市を成長エンジンに

J-Twende (Japan-Africa Collaboration Hub) プログラムの流れ

01

2025年7月23日 ローンチイベント

- プログラム紹介、応募要領説明
- ジェトロ現地事務所によるチャレンジオーナーおよび課題の紹介

02

2025年7月以降 チャレンジオーナーへの提案募集(第一次)、審査 ※締切:8月6日

- 各チャレンジに対する日本企業からの協業提案募集
- チャレンジオーナーおよびジェトロによる提案内容の審査

03

2025年8月20~22日 TICAD Business EXPO&Conference

- チャレンジオーナーによるリバーズピッチ
- チャレンジオーナーと応募日本企業の個別商談設定

04

2025年9月以降 チャレンジオーナーへの提案募集(第二次)、審査 ※チャレンジオーナーの意向により順次締切

- TICAD9後各チャレンジに対する日本企業からの協業提案再募集
- チャレンジオーナーおよびジェトロによる提案内容の審査
- チャレンジオーナーと応募日本企業とのオンライン商談設定

05

2025年9月以降 チャレンジオーナーと日本企業との商談支援

- ジェトロ現地事務所による情報提供、ネットワーク支援
- 現地法律事務所等によるビジネスリスクや契約などにかかるアドバイス

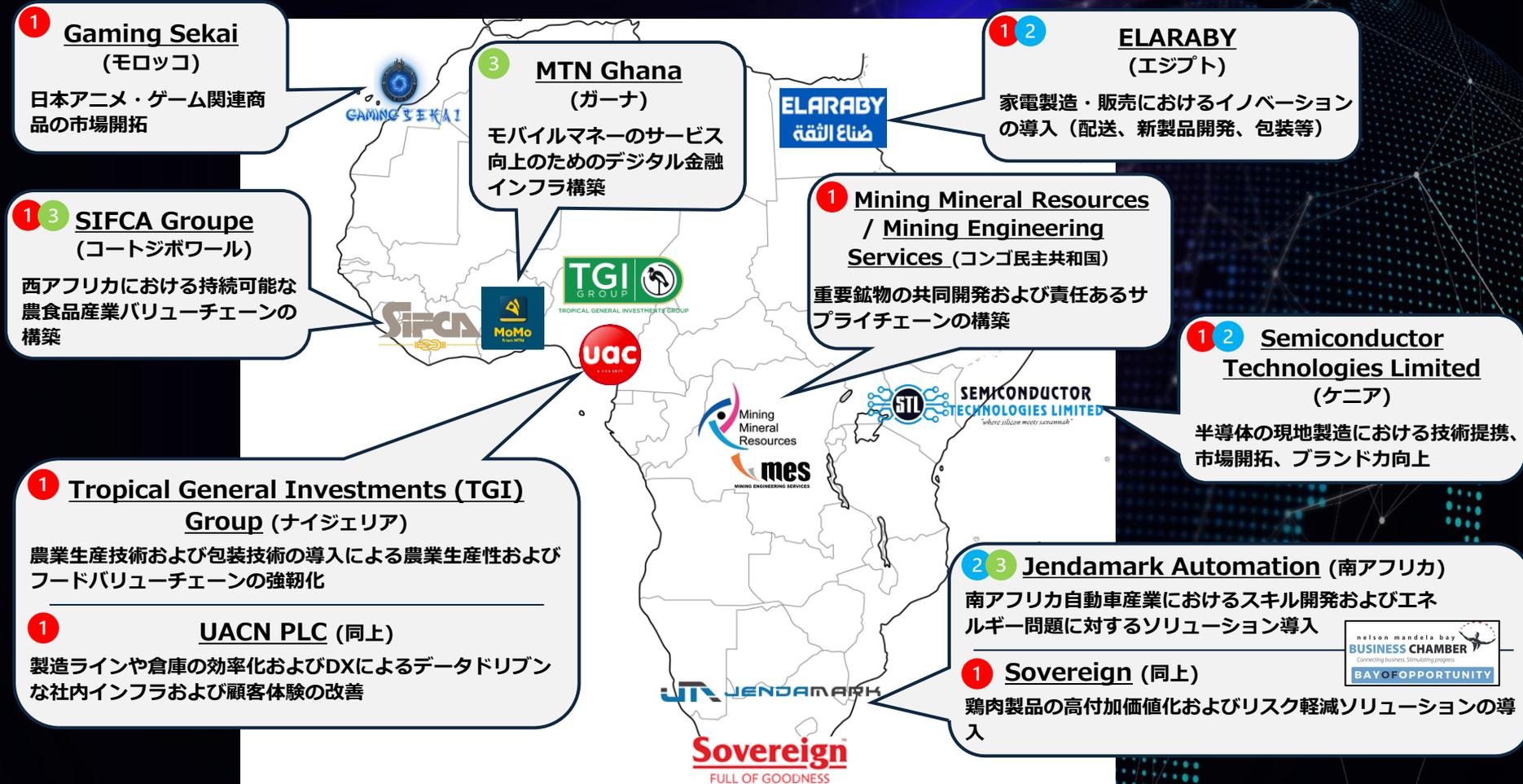
J-Twende
ウェブサイト



J-Twende (Japan-Africa Collaboration Hub)

チャレンジオーナー一覧

① Value Chain Development : 稼ぐ力 ② Youth Empowerment : 人づくり ③ Urban Development : 街づくり





課題から機会へ：ナイジェリア農業バリューチェーンの高度化

Tropical General Investments (TGI) Group

企業概要

- 農業・食品・化学・医療・水産などを手掛け、アフリカとアジアに計13か国展開する多国籍企業。
- 農業の生産や加工、流通まで統合型VCを構築。
- ナイジェリアでは7万人の契約農家と連携し、米、ゴマ、カカオ、綿花、シア、ジンジャーなどを生産。

応募メリット

1. 現地での実証機会
2. アフリカで多国籍展開する信頼ある参入パートナー
3. 共創による新市場・新用途開発
4. 共同出資や資金連携の可能性

ビジネス課題

種子改良、ポストハーベストロスの削減、廃棄物活用、灌漑技術、包装の課題解決を通じた農業生産性向上と持続可能な市場創出を目指す。

課題例

1. 鳥害・化学農業依存
2. ポストハーベスト・ロス
3. 種子の劣化
4. 米ぬか灰の廃棄
5. 排水の再利用

6. 高い米の破碎率
7. 洪水による被害
8. 灌漑設備の高温脆弱性
9. シアの収穫と廃棄
10. ココアの病害
11. 有機除草の手間
12. プラ包装の環境負荷

希望連携内容

1. 技術移転・共同開発：熱耐性の灌漑や選別機、包装技術
2. 現場実証・PoC：グループ企業や契約農家の活用での実証
3. 研究連携：現地研究機関と連携した作物品種改良など

1. 循環モデル構築：米ぬか灰にバイオ利用技術の探索
2. デジタル技術：ポストハーベストロスの低減に係る追跡技術
3. 販路連携：代理店契約を含む日本企業の流通支援



ナイジェリアおよび西アフリカの製造と流通の課題克服

UACN PLC

企業概要

- 1879年に英国の有力商社4社の統合により設立された「ユナイテッド・アフリカ会社（UAC）」を源流に持つ持ち株会社。
- 動物飼料・食用製品、塗料、パッケージ食品・飲料、ファストフードチェーン事業を国内全土に展開する。
- 2024年にテクノロジーハブを設立し、製造現場のDX化開始。

応募メリット

- アフリカ市場へのビジネスチャネルとグループ企業へのアクセス
- R&D施設と研究室の活用
- 既存工場スペースを活用したPoC（概念実証）の実施
- 親会社と投資家からの財務支援

ビジネス課題

ナイジェリアの消費財（FMCG）業界が抱える
流通システムやコールドチェーン、車両や倉庫管理、サプライチェーンマネジメントのDX化

希望連携内容

製造工程全般の見直しや自動化技術の導入、研究開発（R&D）能力の強化
ナイジェリア国内の物流ネットワークの最適化のための技術
腐敗しやすいFMCG製品の廃棄率削減のための製造や包装、品質管理面での技術提携
消費者ニーズに対応する新製品の共同開発プロジェクトの組成



日本のマンガ・アニメなどの正規商品の販路拡大とハブ機能強化

GAMING SEKAI

企業概要

2020年、モロッコの首都ラバトに設立。実店舗やウェブサイトなどを通じ、日本のマンガ、アニメ、ビデオゲームなどの正規商品、公式の関連グッズを販売している。

応募メリット

マンガ喫茶、ゲームセンター、書店を融合した、ファン層が集まりやすいラバトの店舗をはじめ、ウェブサイトやソーシャルメディアを活用し、拡大するモロッコ市場へアクセスが可能。

ビジネス課題

モロッコは日本語学習者数はアフリカで2番目、進出日系企業数はアフリカで3番目に大きい親日市場。数十年にわたり日本のアニメを観て、日本のゲームで遊んできた人口層が存在、拡大しているにもかかわらず、公式グッズが高価で入手が容易でない。

希望連携内容

- 既存の店舗、インターネット、SMS販売にとどまらず、新たなデジタル/AI技術なども活用した販売ハブ機能の強化に取り組みたい。
- 新しいサプライチェーンを構築し、正規商品を適正価格で供給することで新規ユーザーへのリーチを加速、コミュニティを拡大させたい。

鶏肉製品の高付加価値化およびリスク軽減ソリューション



Sovereign
(Supported by Nelson Mandela Bay商工会議所)



企業概要

1948年創業の南アフリカを代表する鶏肉サプライヤーで、事業は孵化場、ブロイラー農場、加工、パッケージング、流通まで、バリューチェーン全体を網羅。南部アフリカ地域に広い供給網を有するほか、ドバイにも子会社を設立し、中東市場でも販路を拡大中。

応募メリット

- ①南部アフリカ地域および中東地域で構築してきたネットワークへのアクセス。
※販路：大手レストランチェーン、大型スーパーマーケットチェーン、食品加工会社など
- ②アフリカ・中東・東アジア市場に適した製品の共同開発。

ビジネス課題

鳥インフルエンザ問題や、原材料費・生産コストの高騰の影響を間接的に受けており、また、低価格の鶏肉を扱う競合他社の脅威もあることから、ブランドの差別化と輸出市場向けの新商品開発、リスク回避策構築の重要性を強く認識。

①パッケージ改良②市場開拓③鳥インフルエンザ対策④コスト削減・設備改良に向けたパートナーを発掘したい。
日本市場開拓に向けた長期的・将来的なパートナーシップ構築も希望。

希望連携内容

- ①パッケージ改良：
優れた包装材・包装技術（低コスト、製品の鮮度を保ち保存期間を延ばすことができる、開封後も再密封できるなど）の導入。
- ②市場開拓：
中東市場における嗜好・ニーズに対応するため、同地域で活動する日本企業の知見やネットワークの活用。
- ③鳥インフルエンザ対策：
鳥インフルエンザ対応策を開発している日本企業との連携。アフリカでの供給が停止した場合でもドバイから安定した供給を維持するためのサプライチェーンに関するノウハウ・知見の導入。
- ④コスト削減・設備改良：
養鶏プロセスに活用可能な、飼料コスト削減、エネルギー効率向上、鶏肉加工技術・生産性向上に資するイノベティブな提案（技術、設備）。



重要鉱物の共同開発および責任あるサプライチェーンの構築

Mining Minerals Resources S.A.R.L. (MMR) /Mining Engineering Services S.A.R.L. (MES)

企業概要

いずれもコンゴ最大の財閥のひとつVinmartグループの子会社。
MMRは、**コンゴ民主共和国 (DRC) 全土**でスズ、タンタル、タングステン、金などの希少鉱物の探査および採掘を行っている。機械化、半機械化、手工業による採掘を組み合わせた事業を展開。
MESは、DRCで大量に採れる銅の加工（電線、ケーブル等）、電子廃棄物処理や、アノードなど、環境負荷を抑えた技術に注力。

応募メリット

- **アフリカ鉱物市場へのネットワーク、アクセス**
- **政策連携**
- **鉱物（タンタルおよびタングステン製品等）の優先購入権**

ビジネス課題

① 鉱物精製処理技術向上・共同開発(MMR) :

スズの製錬を行う際に生成される副産物スズスラグは、貴重な資源のひとつだが、含まれるタンタルの品位は現在4%程度。こうした重要鉱物の精製処理技術の向上させ、より付加価値を高めたい。

② 電子廃棄物処理(MES) :

DRCは電子廃棄物の墓場。**リサイクルインフラ**の不足、**収集・物流システム**の未整備、**環境に配慮した施設**の不足など課題が多い。

希望連携内容

- ① 重要鉱物の**付加価値・製錬効率向上**のための共同開発（例：スズスラグに含まれるタンタルの品位を高める**熱冶金技術（ピロメタラジー）**の導入）（MMR）
- ② **電子廃棄物処理・リサイクル設備**の導入（収集、解体、金属回収プロセス）（MES）
- ③ 透明性のあるサプライチェーン、インフラ構築のための**技術的パートナーシップ**（MES/MMR）



半導体の現地製造にあたっての技術提携、市場開拓、ブランド力向上

Semiconductor Technologies Limited (STL)

企業概要

ケニアに本社を置く**アフリカ初の半導体製造企業**。設立以来、研究開発、設備製造、受託製造の能力を高めるとともに、**人材育成にも尽力**。アフリカでの電子機器製造の現地化を推進し、最終的には、ICの製造プロセス全体をカバーする**フルフロントエンド製造**を目指す。

応募メリット

- ・アフリカ市場へのアクセス
- ・インフラアクセス
- ・戦略的ポジション
- ・政策連携
- ・人材パイプライン
- ・コスト優位性

ビジネス課題

- ①**事業規模**：初期生産量が少なく、単価が高くなることで競争力が低下。
- ②**市場開拓**：アフリカ市場だけでは商業的に不十分で、**グローバル市場へのアクセス**が必要。
- ③**ブランド価値と信頼**：ブランド認知が低く、**主要企業との関係構築**が必要。
- ④**技術力**：OSAT分野の専門性が不足しており、**学術機関との連携**による能力開発が必要。
- ⑤**資本投資**：高額な設備投資が必要で、事業拡大の障壁となっている。

希望連携内容

- ①**OSAT (Outsourced Semiconductor Assembly and Test) における合弁事業**
- ②**製品開発と現地化 (例：家畜用最小限の機能を備えたRFID IC)**
- ③**日本の高等教育機関および中小企業との技術・知識移転パートナーシップ**
- ④**設備調達・設置、化学品、原材料に関するサプライチェーンパートナーシップ**
- ⑤**研究開発 (R&D) とファブ設計に関する助言支援**

エジプト

ELARABY
صناعة الثقة

家電製造・販売ソリューション（配送、新製品開発、包装等）

ELARABY Group

企業概要

- 中東・アフリカ最大級の家電製造メーカー
- 中東、アフリカ、欧州など60カ国以上で事業展開
- 世界16ブランドと提携。東芝、セイコー、シャープ等 日本ブランド製品のODM生産も手掛ける
- 国内外スタートアップ等とのオープンイノベーションにも積極的に取り組む

応募メリット

- エジプト国内外での500社を超えるサプライヤーとのネットワーク
- ELARABY社のR&D施設でのコンセプト検証・開発支援、リソース提供
- ELARABY社直営販売店および人材育成施設にてパイロットプロジェクト実施支援

ビジネス課題

- ①配送：家電製品（重量物）配送の効率性向上
- ②新製品：テクノロジーを用いた新製品導入
- ③3R：家電製品の梱包に関する環境負荷軽減、コスト削減
- ④小売業サービス向上：顧客体験向上、人材の育成・管理
- ⑤同時通訳：日本語・アラビア語話者（技術者）間の円滑なコミュニケーション

希望連携内容

- ①配送：重量物配送の安全性・効率性・顧客体験を向上させる技術・製品（外骨格ロボット等）
- ②新製品：VRやウェアラブル端末等、先端技術を用いた新ブランドの輸入販売、受託製造
- ③3R：家電梱包の最適化技術、リサイクル可能なEPSの代替素材、リサイクル紙の活用技術
- ④小売業サービス向上：オンライン、オフライン店舗における顧客体験向上に資する技術、人材育成メソッド
- ⑤同時通訳：日本語・アラビア語の言語の壁を打破する革新的なソリューション

自動車産業における人材育成とエネルギー問題への対応



Jendamar Automation (Supported by Nelson Mandela Bay商工会議所)



企業概要

自動車、水素等の分野で活用可能な**自動化機械およびアセンブリシステム**の設計、開発、製造、組み立て、配線作業、プログラミングを行う。南アフリカ国内でも有数の先進技術を有しており、アワード受賞歴多数。従業員の教育・トレーニングにも積極的に取り組んでおり、デジタルシミュレーション環境で仮想的にトレーニングできるソフトウェアなど、**スマートファクトリーソリューション**も開発。**世界約40か国**に顧客ネットワークを有し、インド、ドイツ、米国に拠点あり。

応募メリット

- ①アフリカ市場に新規に参入する日本企業に対するソフトランディング支援・日本企業発ソリューションの認知度向上支援。
- ②双方の自動車関連ソフトウェアを統合・テストし、品質向上を目指す戦略的パートナーシップおよび協業体制の構築。

ビジネス課題

南アフリカでは若年層の失業率問題、電力問題が極めて深刻。自社体制強化だけでなく、南アフリカのトップランナー企業として南アフリカ全体のより広い経済発展への貢献を目指しており、**若手世代のスキル開発のための日本の先進的な製造業のノウハウ、停電時にも工場の稼働を維持できるようなコスト効率の高いソリューション**を取り入れていきたい。

希望連携内容

- ①社員トレーニングシステムに対するアドバイザー：**トレーニング用ソフトウェアや研修システム全般**の改良に向け導入可能な革新的なアイデア・技術・ノウハウを幅広く募集。
- ②エネルギーリスク軽減策：**代替エネルギー源やエネルギー供給ソリューション**などコスト効率に優れた技術・設備の導入。
- ③産業プロセス強靱化のためのソリューション：**同社開発の組立ライン向け作業支援システムと統合可能な設備・技術**（PLCコントローラーなど）の導入。



西アフリカにおける持続可能な農食品産業バリューチェーンの構築

SIFCA Group

企業概要

- ・西アフリカで最大級のアグロインダストリー企業
- ・4つの分野に注力：パーム油、天然ゴム、砂糖、再生可能エネルギー（バイオマス）
- ・バリューチェーン全体（生産・加工・流通）でビジネスを手掛ける
- ・21の製造拠点、10万ヘクタール以上のプランテーションを有し、年間数十万トン規模の生産量を誇る

応募メリット

- ・西アフリカにおいて大きな成長が見込まれるアグロインダストリー分野の現状を深く理解することが可能。
- ・同分野においてすでに高い専門性・プレゼンスを有するSIFCAグループのネットワークを利用したビジネス参入が可能。

ビジネス課題

1. 食品加工における高付加価値の創出
2. 技術/設備インフラの近代化・イノベーションの導入
3. 環境に配慮し、社会的公正を重視する持続可能なビジネスの推進

希望連携内容

1. 農食品産業のバリューチェーン、中でも「食品加工」のフェーズにおけるより高い付加価値の創出
2. 生産、加工、流通の全般における、新たな技術や設備インフラ、イノベーション/ソリューションの導入
3. スマート農業、廃棄物の管理および再資源化、水資源管理、再生可能エネルギー、エネルギー最適化、カーボンクレジット、バイオ燃料、農業・産業の生産性向上、環境保全などに関連するソリューションの導入

ガーナ

デジタル金融インフラ、デジタルサービスインフラの構築



MTN Mobile Money (MoMo) Ghana

企業概要

MTNグループが運営する**ガーナ最大のモバイルマネープロバイダー**です。現在のアクティブアカウント数は2500万件（ガーナの人口3500万人）。個人間での送金、小売店、レストラン、企業といった**ガーナでのほぼすべての支払いに利用可能**。

応募メリット

- ・ガーナ消費者行動データへのアクセス可能
- ・PoCの実施可能
- ・MTN/Momoが持つブランド、アフリカ市場内ポジショニングの利用可能

ビジネス課題

1. モバイルバンキングサービスの構築
2. Eコマースプラットフォームの構築
3. 情報処理能力向上、サイバーセキュリティ強化

希望連携内容

1. モバイルマネーを「**銀行サービス**」として提供するための技術、製品
2. Eコマースプラットフォームとしての**消費者情報の活用方法**や**インターフェイス開発**の技術、製品
3. **決済時間短縮化、セキュリティ強化**に繋がる技術、製品

J-Twende (Japan-Africa Collaboration Hub) リバースピッチイベント

日時：2025年8月21日（木）12:15～13:45
場所：TICAD Business Expo & Conference (TBEC) 会場
※パシフィコ横浜 ホールB・C 大ステージ
言語：英語・フランス語
TBECお申込み：<https://www.jetro.go.jp/events/ticad9/>

TBEC
ウェブサイト



第一次申込締切（8月6日）までに提案を行った日本企業について、
チャレンジオーナーが関心を示した場合ジェトロにて対面面談をアレンジします。

👉 チャレンジオーナーへのソリューション提案は下記QRから

J-Twende
ウェブサイト



ご参加ありがとうございました。

お問い合わせ先：
ジェトロ・カイロ事務所 塩川
ジェトロ・ヨハネスブルク事務所 西浦
jetroafrica@jetro.go.jp